

## [6]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2557099>

---

出版情報：文學研究. 6, 1933-10-10. 九州文學會  
バージョン：  
権利関係：



# 彙報

## 國文學會

### 一、例 會

六月二十七日(金)午後五時第二學生集會所に於て。

休暇を目前に控へ、集談會を催す。

新秋よりの研究發表會に就き相談す。

九月十九日(火)午後五時第二學生集會所に於て。

夏期訪書研究旅行の收穫を發表す。(蒐集資料を展觀す)

講演左の如し。

京都・東京・荊谷・神宮方面

大和萬葉遺蹟・名古屋・神宮・松坂・伊賀方面

宗像・秋月・奈良・高野山・東京方面

征淵 友一

小島助教

春日 教授

## 寄贈雜誌

國文學試論 (春 陽 堂)

日本文學 (日本文學研究所)

英語青年 (英語青年社)

皇 學 (神宮皇學館館友會)

藝術 (藝術批評會)

農民文化 (東京農業大學出版部)

土佐史談 (土佐史談會)

國語・國文 (星野書店)

國學院雜誌 (國學院大學雜誌部)

コトバ (不老閣書房)

國語研究 (國語學研究會)

國文學新報 (國文學新報社)

民俗學 (民俗學會)

言語 (東北帝國大學言語學談話會)

カスターニエン (京大獨逸文學研究會)

## 編輯後記

○寄贈雜誌は九州文學會宛に頂戴したものと、みを記録し、併せて此處に各方面の御好意に對し謝意を表する。

○本會の雜誌は當分は役員のみの研究發表機關となつてゐるが、勿論將來は全會員の進出が實現されなければならぬ。

○如何やら季刊遂に漕ぎつけては見たが、會員の支持に由つて此の儘の運轉を繼續して行きたいものである。

○小牧健夫氏は眼疾の爲に充分執筆の餘裕なく、本號の體裁は宜しく御了察あり度い。(當番役員)